

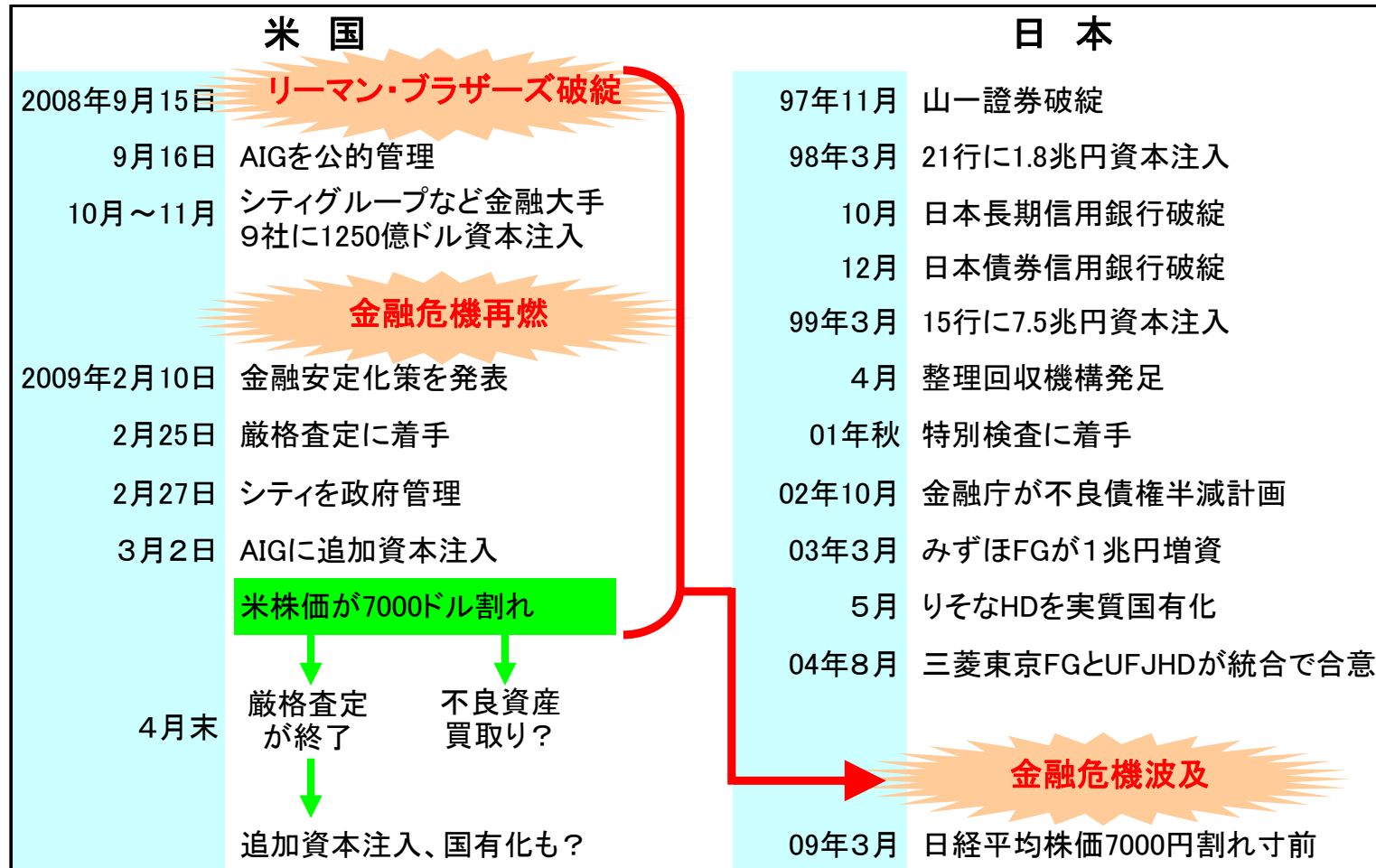


一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

問題提起： 金融危機から経済危機へ 景気の方行方と政策対応

一橋大学経済研究所
北村行伸
2009年3月7日
関西アカデミア
ザ・フェニックスホール

米国と日本の金融危機対応



出典) 毎日新聞2009年3月4日(朝刊)

1. 金融危機の本質とは？

- 金融危機はどこが**原因**で、それはなぜか？
- **ITバブル**から**住宅バブル**への乗り換えが起こりえたのはなぜか？
- **不良債権処理**はどのように進むのか？短期に不良債権を普通に市場取引できる債権に変えることはできるのか？
- 世界的な規模での流動性供給は新たなバブルを生まないか？それを阻止するための施策はあるのか？

2. 景気後退とマクロ経済政策

- 金融危機から実体経済への波及経路はどのようなものか？
- 実体経済への波及を阻止するために有効なマクロ経済政策は何か？
- 金融政策から財政政策へとマクロ経済政策のスタンスがシフトしているが、その理論的根拠はなにか？流動性の罨という概念から導かれる政策なのか？
- 今回の麻生政権の経済対策をどう評価するか？とりわけ2兆円規模の定額給付金政策に意味はあるのか？

3. 現下の雇用問題と政策課題

- 現下の急激な雇用調整の背景にあるものは何か？他の調整方法は無いのか？
- 企業はなぜ雇用を非正規化したのか？
- 企業にとっての雇用調整の長期コストはどう考えればいいのか？
- 雇用に関するセーフティネットはどのように確保すればいいのか？
- 労働市場の二極化が所得格差に結びつくとなれば、どのような対応が考えられるのか？

4. 金融危機と国際政策協調

- 今回の金融危機は世界的規模で拡大しており、1930年代の政策の失敗の轍を踏まないためにも、国際政策協調が必要であるという意識は先進国政府の間では共有されていると思うが、具体的な各論に入ると各国対立はあると思われるが、それはどうやって解決するのか？アメリカのリーダーシップは発揮できるのか？
- 銀行監督規制としてBIS規制はどのような意義があるのか？証券業、保険業、ヘッジファンドへの適切な規制のあり方はどうか？
- IMF、金融安定化フォーラムや世界銀行にこれらの金融機関規制を総合的に立案し、執行していただくだけの人材は揃っているのか？



5. 今後の展望と課題

- 日本経済の望ましい姿とは？**実体経済**と**金融経済**のバランスを保つこと、**資源分配**を有効に進めること、そのためには**市場メカニズム**を使うしかないのか？
- 各種の**セーフティーネット**を再点検する必要がある。民間企業経営の戦略も見直す必要があるのではないか？
- **経済学**の低迷・混乱：マクロ経済学は今回の金融危機・経済危機に対して十分な説明を行い、適切な処方箋を提示しているのか。